

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2020年12月18日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

【東進だけ】共通テスト+二次の総合判定で出願校決定を後押し

「大学入学共通テスト 合否判定システム」 本日 12月18日(金) 事前登録開始!

登録後すぐに活用できる「合格応援コンテンツ」も、すべて無料!

東進ハイスクール・東進衛星予備校(以下、東進)を運営する株式会社ナガセは、12月18日(金)より、「大学入学共通テスト 合否判定システム」(以下、合否判定システム)の事前登録を開始いたします。

合否判定システムは、大学入学共通テストの自己採点結果を元に志望校の合格可能性を判定するもので、出願校を決定するうえで、なくてはならない仕組みです。

特に、今年度は初の大学入学共通テストとなり、受験生にとって受験後の情報収集がより重要です。東進では、二次試験の配点等を加味した確かな「総合判定」と、二次試験までの学力向上を応援する独自の合否判定システムを提供します。

**大学入学共通テスト
合否判定
system**

二次試験の配点を考慮した判定は東進だけ!

受験生の1.8人に1人が使用!

- ▶ 登録すると185大学・最大26年分の過去問が見られる!
- ▶ カレンダーで、志望校の入試日程を一覧表示できる!

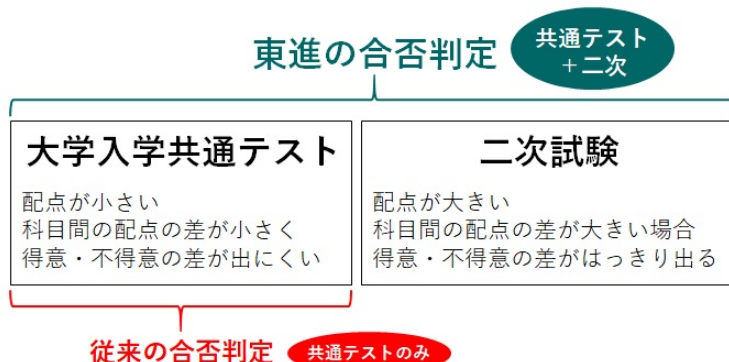
【1. 東進の合否判定システムの特長】

① 共通テストと二次試験の配点を考慮した「総合判定」を掲示

東進の合否判定システムは、共通テストの得点から、二次試験(大学個別の試験)の得点を推定。共通テスト+二次試験の「総合判定」を行います。二次試験を加味しない、従来の合否判定とは大きく異なります。

国公立大学の合否判定は、共通テストと二次試験の2つの試験の総合判定により行われます。2つの試験の配点比率は大学により異なり、難関大になるほど二次試験の比率が高い傾向にあります。また、科目の配点も均一ではなく、例えば「外国語学部で英語の比率が高い」「理系学部で数学・理科の比率が高い」といった特徴があります。

従来の合否判定では、大きなウエイトを占める二次試験を全く加味していませんでした。しかし、東進では、共通テストの得点を登録するだけで、二次試験まで踏まえた「総合判定」を提供します。



②私立一般入試の合格可能性も揭示

国公立大・私大共通テスト利用入試に加え、私大一般入試の合格可能性も提示します。私大一般入試の合格可能性を提示するのは東進だけです。

③二次試験の科目・配点などの出願に必要な情報をまとめて閲覧

合格可能性だけでなく、入試科目や配点など、必要な情報を一覧で表示します。限られた時間の中で効率よく出願校決定ができます。

④合格可能性の高い大学を検索できる

学部系統や地域などの条件で絞り込んで、合格可能性の高い大学を表示します。併願校の選定に活用できます。

⑤カレンダーで志望校の入試日程を一覧で表示できる

登録した大学がすべて表示されるため、思わぬ試験日の重複や連続、絶対に忘れてはいけない出願締切日もすぐにチェックできます。

入試日程カレンダー						
2020年2月						
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
			私立大学 入試	私立大学 入試	私立大学 入試	私立大学 入試
			私立大学 入試	私立大学 入試	私立大学 入試	私立大学 入試
9	10	11	12	13	14	15
		私立大学 入試	私立大学 入試	私立大学 入試	私立大学 入試	私立大学 入試
			出願締切日			

【2. 判定以外もすべて無料！

登録者の合格を応援する充実コンテンツ】

登録直後から活用できるコンテンツが盛りだくさんのため、早期の登録をおすすめしています。

<登録後すぐ>

①全 185 大学、最大 26 年分の過去問が閲覧できる

東進の「大学入試過去問データベース」も同時に利用可能。過去問の分析を行い出願校選びの参考にできるほか、併願校の対策にも活用できます。

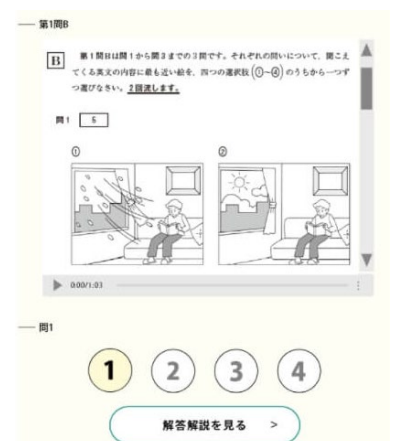
<登録後～大学入学共通テストまで>

②共通テスト直前リスニング難所対策

センター試験と比較した共通テストの一番のポイントは、リスニングの難化と配点比率アップです。WEB 上で、特徴的な問題の対策ができる仕組みを提供します。

③共通テスト直前チェック英単語 TOP300

共通テスト試行調査カバー率 99.7%の「共通テスト対応英単語 1800」から、出題頻度が高く、受験生が間違えやすい単語を 300 語厳選して単語帳データとして提供します。



<共通テストの得点入力後>

④国公立二次・私大対策の英語ワンポイント解説授業

東進の実力講師陣による「論説文の読み方」「和文英訳」の授業映像を視聴できます。

⑤難関大学 ここがよく出る分野一覧表

直前期でも学力の伸びやすい理科・地歴公民において、過去 10 年分の入試を分析し出題頻度の多い分野をランキング形式で公開します。

(国公立 24 大学・早稲田大学・慶應義塾大学・上智大学・明青立法中グループ・関関同立グループについて提供)

【3. 合否判定システム 登録方法】

大学入学共通テストを受ける高3生、高卒生(浪人生)が対象です。

スマホ・パソコン・タブレットで、「東進」もしくは「合否判定システム」と検索！
東進ドットコム「合否判定システム」サイトより申込できます。

https://www.toshin.com/hantei_sys/

【4. 東進だけの「総合判定」の具体的な事例】

東進の「総合判定」と、従来の共通テストだけの判定との違いをご紹介します。

パターン1 合否判定基準で二次試験の配点比率が高く教科間の差も大きい場合

大阪大学 外国語学部

第一段階選抜

大学入学共通テストの素点
英語は、リーディング・リスニング
各100点をリーディング150点・リス
ニング50点に換算

合否判定基準

大学入学共通テスト(傾斜配点) + 二次試験
二次試験で地歴(世界史B)受験の場合(世界史Bまたは数学を選択)

教科	配点
英語	200
数学	200
国語	200
理科	100
地歴公民	200
合計	900

教科	共通テスト	二次試験	総合評価
英語	25	300	325
数学	25	—	25
国語	25	100	125
理科	25	—	25
地歴公民	50	100	150
合計	150	500	650

合否判定基準の特徴：共通テストよりも二次試験が大きな比重を占める
さら二次試験の配点比率の高い英語が合否を左右する

東進の合否判定 総合評価での合否判定のため、正確な合格可能性を提示

従来の合否判定 共通テストのみの合否判定では、英語の有利が加味されない
全教科の学力による大雑把な合格可能性に過ぎない

パターン2 合否判定に大学入学共通テストを用いない場合

東京工業大学

第一段階選抜

大学入学共通テストの素点
英語は、リーディング・リスニング
各100点をそのまま使用

合否判定基準

二次試験のみ
大学入学共通テストは合否判定には用いない

教科	配点
英語	200
数学	200
国語	200
理科	200
地歴公民	100
合計	900

教科	共通テスト	二次試験	総合評価
英語	—	150	150
数学	—	300	300
国語	—	—	—
理科	—	300	300
地歴公民	—	—	—
合計	—	750	750

合否判定基準の特徴：共通テストの成績は合否判定に影響しない
二次試験の中でも、数学・理科の配点比率が高い

東進の合否判定 総合評価での合否判定のため、正確な合格可能性を提示

従来の合否判定 第一段階選抜の基準である共通テスト5教科7科目の
学力ランクを提示しているのみで合格可能性とは言えない

【5. 合否判定システムの判定について】

合否判定システムの判定は、全国の高等学校で採用されている「共通テスト分析」のデータとインターネット上の「合否判定システム」利用者の得点データを合算して分析しています。母集団における重複登録や不正登録は除外しています。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当：市村（いちむら）、海老根（えびね）

TEL: 0422-44-9001 Mail: pub@toshin.com